

キャラクター名
HO4:内倉 織子 (うちくら おりこ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ソラリス	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	探偵
オプション	オルクス	年齢	28歳	性別	女
覚醒	無知	衝動	吸血	初期侵食率	32%
出自	天涯孤独	経験	死と再生	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	0	0	0	1		1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド			情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
狂戦士のすすめ	RC	4r+1				80%制限。達成値+4、ダイス+4、対象のC値-1。
癒しの水	RC	4r+1				HPを[(LV)D+5]回復。
拡大:狂戦士のすすめ	RC	4r+1				対象を3体にする。80%制限。達成値+4、ダイス+4、対象のC値-1、シナリオLV回。
拡大:癒しの水	RC	4r+1				3人までHPを[(LV)D+5]回復。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	6	3			PC1に譲渡

所持品	

合計装甲: 3 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
理解者	P 尊敬	N 隔意		
医者	P 信頼	N 悔悟		
神代早月	P 好意	N 不安		
グッバイデイズ	P 興味	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
導きの華	4	4	メジャー	視界	単体	RC/交渉	-	
効果:	次の達成値+[LV×2]。							
要の陣形	2		メジャー		3体	シンドローム		
効果:								
生き字引	3		メジャー			意思		
効果:								
天性のひらめき	2		メジャー			全		
効果:	調達以外の判定のC値-lv 戦闘時使用不可							
狂戦士の薬	2		メジャー			交渉	80↑	
効果:								
妖精の手	2		オート					
効果:								
声なき声	1	-	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果:	拒否られなければ脳内に直接話しかけられる。							
地獄耳	1	-	メジャー		自身	自動	-	
効果:	領域内なら全部聞ける。GM裁量でRC判定							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【概要】
表向きは探偵をしている28歳女性。
元刑事かつ、刑事の姉がいる(義理)
天涯孤独だわ死と再生だわニュースに出ているわ。不憫にしか思えない。
「ある日家族でドライブ中、大規模な事故に巻き込まれ、貴重な生存者としてニュースに出たことがある」をお願いします。

攻撃力皆無だから視界にあるものすべてに支援を贈ります。

【経歴】
14歳まで孤児院で過ごした後、遠縁である内倉家の養子となり、恩返しにと警察官として働いていた。…が。
オーヴァード事件への動きづらさから、探偵業を始める。
看板を出しているだけで探偵としての稼ぎはあまりない。エージェントとして生きている。

それなのにいまだに「探偵」を表向きに掲げているのは、ひとえに引き取ってくれた内倉家へ思うところがあるからである。
「私は表側の人間でありたいだけだな」
「姉さんのような人に、なりたかった」

【ロイス内訳】
・理解者…さみしい孤児院から拾い上げてくれた義理の姉。ただし一般人なので疎外感も感じている。なお、姉は現役警察官。
・医者…事故当時カウンセリングしてくれた医者。信頼しているが「ありがとう」と言い損ねたことを後悔している。
・神代早月…とある事件で知り合った少女。すごいと思っているが、危うくも見えている。